

まえばし 市議会だより

No.158
2022・2
前橋市議会発行



— 主な内容 —

- 第4回定例会の概要…………… P.2
- 会派別の質問事項…………… P.2～3
- 総括質問…………… P.4～10
- 議案の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

議場に素晴らしい音色が響きました

第4回定例会の最終日に、前橋市立前橋高等学校吹奏楽部の皆さんによる議場コンサートを開催しました。新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら演奏が行われ、「鷺の舞うところ」や「前橋だんべえ踊り」など、素晴らしい音色が議場に響きわたりました。(出演者の感想を3ページに掲載)



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

一般会計補正予算などを可決

昨年、十一月二十九日から十八日間の会期で第四回定例会を開き、「令和三年度一般会計補正予算」など市長提出議案四十一件、意見書案十一件などを審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（11月29日）

横山議長が第四回定例会の開会を宣告した後、会期を十二月十六日までの十八日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、「令和三年度一般会計補正予算」など三十四件の市長提出議案を上程し、所管の各部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（12月7日）

市長提出追加議案一件を上程し、所管部長が提案理由の説明を行いました。

次に、上程中の議案や市政に対し、八人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4ページ10ページに掲載）

○第3日（12月8日）

前日に続き、九人の議員が総括質問を行いました。

○第4日（12月9日）

前日に続き、九人の議員が総括質問を行いました。

次に、上程中の議案三十五件について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から「福祉医療費の支給に関する条例の改正について」など三議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決しました。（議決結果は11ページに掲載）

○第5日（12月16日）

開議前に前橋市立前橋高等学校校吹奏楽部の皆さんによる議場コンサートを開催し、「驚の舞うところ」や「前橋だんべえ踊り」などのすばらしい演奏が披露されました。

続いて、本会議に入り、ICT利便性向上調査特別委員会の調査研究概要について、委員長から中間報告がありました。

次に、固定資産評価審査委員会の委員に永田美代子さんを選任、人権擁護委員の候補者に櫻井啓一さん、井上昭子さん、駒木保夫さん、富岡和子さん、小畑晃さんを推薦したいとする六件の市長提出追加議案を上程し、

採決を行った結果、いずれも同意しました。

続いて、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案十一件を上程し、採決を行った結果、「スクールカウンセラーの配置拡充を求める意見書」など三件を可決しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）

最後に、山本市長から挨拶があり、第四回定例会は閉会しました。

会派別の質問事項

□前橋令明

- ①令和四年度事業
- ②農業用燃油の価格高騰対策
- ③人権組織
- ④公共施設、用地の民間活用
- ⑤前橋市スーパースイッチイ構想
- ⑥自己託送実証事業
- ⑦妊娠、出産の支援
- ⑧ヤングケアラー
- ⑨歴史的風致維持向上計画
- ⑩観光
- ⑪前橋市国土強靱化地域計画
- ⑫まえばしシェアサイクル、コグ

特別委員会の中間報告

令和三年六月に設置したICT利便性向上調査特別委員会では、市当局からの聞き取りや委員間での討議などの調査研究を進めており、十二月十日に中間提言書を山本市長に提出するとともに、今定例会において活動状況や提言内容について中間報告を行いました。

中間提言書においては、利便性の高い社会を早期に実現するために、デジタルデバイドの解消、地域社会のDX推進、推進体制等の整備について、市民の理解や協力を得ながらICT施策を展開することを要望しました。



- ⑬ベ料金見直し
- ⑭群馬大学病院の水道水質検査
- ⑮赤城山水系断水事故

前橋市立前橋高等学校吹奏楽部



想いが音となり
心に共鳴して
感情が動く

二年 佐藤 拓郎さん

皆さんに演奏を楽しんでもらえて緊張がほぐれました。人を感動させるのではなく、自分の想いが音となり、聴いている人の心に共鳴した時に感情が動くということを意識して日々練習しています。今後さまざまなイベントを開催して、皆さんと音を通して関わっていききたいです。

①6 まえばし子ども見守り宅食事業 ①7 マイナンバーカード保険証連携 ①8 地域の諸課題 ①9 マイナンバーカード ②0 公民館と社会教育 ②1 道路清掃 ②2 ごみ散乱防止対策 ②3 酒井氏歴代墓地の国指定史跡化 ②4 前橋をマラソンのまち ②5 救急車の搬送時間 ②6 高齢者フレイル ②7 猫対策 ②8 新型コロナウイルス対策 ②9 国際交流協会 ③0 スポーツイベント ③1 職員採用 ③2 子育て世帯の支援 ③3 空き家対策 ③4 道路環境整備 ③5 家庭や学校に居場所がない児童への支援 ③6 子供行政の一元化 ③7 タイガーマスク運動支援プロジェクト ③8 所有者が死

亡した固定資産の対応 ③9 前橋総合運動公園の整備 ④0 G I G A スクールの今後 ④1 教育情報ネットワーク再構築 ④2 市民団体との連携 ④3 公共施設の使用料 ④4 デジタル化 ④5 部活動 ④6 スポーツ政策 ④7 自治会 ④8 キャッシュレス決済 ④9 新設道の駅

□前橋高志会 ① 農業政策 ② 道の駅開設に向けた観光施策 ③ 立体駐車場の活用 ④ 地域の諸課題 ⑤ 産業団地の確保 ⑥ 歴史文化遺産の活用 ⑦ 施設園芸に係る燃油価格高騰対策 ⑧ 道路整備 ⑨ おくやみ相談窓口 ⑩ 前橋市犯罪被害者等支援条例 ⑪ 前橋市地球温暖化防止実行計画 ⑫ 行財政運営面における民間委託等の推進の考え方 ⑬ 公共交通政策 ⑭ 管理不全の空き家、空き地 ⑮ 移住施策 ⑯ C S F 対策 ⑰ 赤城山ミーティング ⑱ 市政の課題 ⑲ 地域の課題

□市民フォーラム ① 子供たちの命を守る本市の取組 ② 教育行政 ③ 本市職員の働き方 ④ 子育て施策 ⑤ ごみ減量 ⑥ 公園 ⑦ 県民会館 ⑧ アーツ前橋 ⑨ 旧前橋駅舎 ⑩ 新道の駅 ⑪ 消費生活対策 ⑫ 経済活性化対策 ⑬ スーパーシティ構想 ⑭ ワクチン接種

□日本共産党市議団 ① 新型コロナウイルス感染症対策 ② がん検診の有料化の中止 ③ 大胡ぐり

次回定例会日程(予定)のお知らせ

| | |
|----------|-----------|
| 3月2日(水) | 本会議(初日) |
| 3月8日(火) | 本会議(代表質問) |
| 3月10日(木) | 本会議(総括質問) |
| 3月14日(月) | |
| 3月17日(木) | 市民経済常任委員会 |
| 3月18日(金) | 建設水道常任委員会 |
| 3月22日(火) | 総務常任委員会 |
| 3月23日(水) | 教育福祉常任委員会 |
| 3月28日(月) | 本会議(最終日) |

(日程は変更になる場合があります。)

本会議の傍聴は議会庁舎5階の議場入口で、委員会の傍聴は議会庁舎1階の議会事務局で受け付けます。

発熱などで体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮ください。また、本会議の傍聴はできる限り控えていただき、インターネット中継をご視聴いただくようお願いいたします。



←本会議のインターネット中継
<http://maebashi.gikai-tv.net>

1 ンふらわー牧場 ④ 前橋市DX推進計画の問題点 ⑤ スーパーシティ構想 ⑥ アーツ前橋 ⑦ 新道の駅の運営 ⑧ 市立小中学校、高校のジェンダー平等の推進 ⑨ 平和資料館の創設 ⑩ 遠見山古墳の調査

□公明党市議団 ① デジタル技術を生かした便利で暮らしやすいまちづくり ② 保健衛生 ③ 前橋四公祭 ④ 前橋版生涯活躍のまち(CCR C) ⑤ 前橋市DX推進計画 ⑥ 子供の貧困対策推進 ⑦ 地域課題解決への取組 ⑧ 行政課題解決への取組 ⑨ 図書館サービス

□まほろば ① 医療連携と健康増進 ② アートによるまちづくり ③ 文化とスポーツのまちづくり ④ 支え合いの地域づくり ⑤ C O

2 排出削減 ⑥ 市立図書館本館 ⑦ 通学路の安全対策

□赤利根 ① 新しい価値の創造 ② 中心市街地 ③ 前橋市の教育 ④ 文化芸術振興

□なないろ ① みどりの食料システム戦略 ② 子供の人權

議 会 日 誌

昨年十月から十二月までに開催した主な会議は次のとおりです。(内は開催回数です。)

本会議(5)、総務常任委員会(2)、教育福祉常任委員会(2)、市民経済常任委員会(2)、建設水道常任委員会(2)、ICT利便性向上調査特別委員会(3)、議会運営委員会(6)、各派代表者会議(5)



前橋令明
須賀 博史



施設園芸農家への支援

〈問〉農業用燃油の価格高騰により影響を受けている施設園芸農家があります。国の支援に加えて、燃油の購入量に応じた助成など、市独自の支援策を早急に講じる必要があると考えますが、市長の見解を伺います。

〈答〉喫緊の課題であり、経営継続を断念するようなことがあれば、農業都市前橋としての大きな損失だと思っています。共済などの自己管理とは別に市独自の支援策を検討しているところですので、近日中に発表できるように急ぎたいと思います。できる限り遡って支援を行いますので、経営者の皆さんには、経営をそのまま継続されるようお願いしたいと思います。

ザスパの練習場整備

〈問〉Jリーグのザスパクサツ群馬が自前の練習場とクラブハウスの整備を目指し、ローズタウンを候補地として当局と協議を始めたことを新聞報道で知りました。練習拠点としている下増田のフットボールセンターが一般市民も利用可能なことや芝生養生期間が必要で、クラブと

しての利用制約が課題であり、自ら練習場整備を計画しているものと認識しています。練習場整備に関してどのような姿勢で対応するのか市長に伺います。

〈答〉過日、練習場についての要請と、それに伴う支援についての話をもらったところですが、今後どのようなスキームで練習場を設置していくのかについて、球団側と詰めています。年明け早々にはいろいろな動きを議会と相談しながら発表していきたいと考えています。



前橋令明
新井 美加



歴史的風致維持向上計画

〈問〉歴史的風致維持向上計画の策定作業は令和二年度からスタートし、総社地区の総社神社の周辺や祭礼が含まれています。核の部分である歴史的風致の内容や重点区域については、国との協議が進んでいるようですが、①これまでの協議状況②今後の取組について伺います。

〈答〉①令和三年十一月までに国と六回、庁内委員会を四回、外部協議会を三回実施しました②令和四年度中の認定を目指し

て計画の後半の協議に入りました。国の支援事業を見極めながら、地域住民や関係者に丁寧な説明を行い、より効果的な事業を進めたいと考えます。

国土強靱化地域計画

〈問〉国土強靱化地域計画については、進捗率を更に高めるとともに、計画を進めるうえで有効な財源を確実に取り込むことが重要であると考えます。①施策の内容を充実していくための取組②国庫補助事業の活用状況について伺います。

〈答〉①庁内横断的な連携や調整を図る体制を活用して進捗状況の確認と評価を行い、見直しなどを実施しています②関連する国庫補助事業を全庁的に洗い出し、計画内に確実に位置づけを行うよう努めています。



前橋令明
林 幸一



公民館と社会教育

〈問〉子どもから高齢者まで全ての人が元気に活躍し続け、安心して暮らすことができる社会を作る必要があります。その鍵を握るのは生涯学習社会の実現であり、社会教育は公民館が主体となるべきだと考えますが、公民館や社会教育のたいせつさ

について見解を伺います。

〈答〉社会教育によって誰もが主体的に学べる機会を提供し、自己の学びを地域に還元していく視点が大事です。公民館は人や地域を作り、社会教育を推進する地域の拠点として中心的な役割を担うものです。今こそ社会教育の出番と考えています。

市道の道路清掃

〈問〉落ち葉の時期は道路清掃が追いつかず、道路冠水の危険性が高まります。市道を清掃が行き届いた安全で良好な状態に保つための継続的な取組方法について見解を伺います。

〈答〉道路清掃は清掃業者への業務委託と道路補修センターによる直営を組み合わせて実施しています。業務委託では定例的なコースの清掃を行い、直営では小回りの利く車両で機動力を持ってニーズに対応しています。道路は皆さんが使う公的空間ですので、安全で良好な状態に保つよう努めていきます。



前橋令明
小淵 一明



群大附中通りの整備

〈問〉群大附中通りの交通安全の確保は地域にとって非常にたいせつですが、①整備の進捗状

況②幸塚町交差点改良の考え方
③幸塚町交差点以南の拡幅区間の進め方について伺います。

〔答〕①令和三年度末時点で用地買収面積ベースで三八%、工事費ベースで一八%、全体事業費ベースで二八%の進捗率となる予定です②信号待ちの歩行者や自転車は安全に待機できるスペースを確保するとともに、交差点内のカラー舗装を行う予定です③令和三年度より用地取得を行い、電柱や信号機の移設について協議を進めていきます。

西片貝町二丁目の道路拡幅

〔問〕桂萱中学校南西に位置する西片貝町二丁目地内の約百五十メートルの区間は、前後の道路の幅員と比べると狭くなっています。既存道路を活用した整備は早期の交通環境改善に有効であると考えますが、道路拡幅の進捗状況について伺います。

〔答〕令和三年度は測量業務を発注し、境界確定の準備や現況



西片貝町二丁目の道路

図面の作成を行い、地権者や地元自治会に説明を行う予定です。令和五年度の完成を目指して財源確保に努めながら事業を進めていきたいと考えています。



前橋 令明
佐藤 祥平



職員の社会人採用枠

〔問〕本市職員の社会人採用枠の受験資格では、青年海外協力隊の活動経験が職務経験に通算できることとなっておりますが、現状では青年海外協力隊経験者で採用に至った人はいないと聞いています。①応募状況②現状の課題について伺います。

〔答〕①令和元年が一人、令和二年が二人、令和三年が一人です②青年海外協力隊などの豊かな経験を持つ人には、本市が掲げている目指す職員像の一つであるチャレンジャーする職員になり得るものと期待しています。受験者を増やす取組も必要ですので、関係機関にも相談しながら効果的な周知を行っていきます。

子育て世帯への支援

〔問〕核家族化や新型コロナウイルス感染症拡大などで子育て世帯の孤立化が課題となっております。本市でもさまざまな子育て世帯の支援事業に取り組んで

いますが、支援事業の課題と今後について伺います。

〔答〕父親の家事、育児への参画は重要であると認識しており、父親対象の講座などを開催していますが、参加が少ないことが課題です。今後は関係機関などと連携し、父親が参加しやすい講座内容の工夫や周知方法について検討していきます。



前橋 令明
市村 均光



市民協働条例の制定を

〔問〕市民と行政とが協働し、それぞれが課題と感じていることを解決するためのまえばし市民提案型パートナーシップ事業は、募集期間終了後の提案ができません。そこで、市民協働条例を制定し、通年で提案を募集できるようにすれば市民活動団体などはいずれも提案することができ、市との連携が促進されると考えますが、いかがですか。

〔答〕市民協働条例の制定には安定した財源の確保が必要ですので、他市の状況などを調査研究していきたいと考えます。

臨時特別給付金の支給方針

〔問〕子育て世帯への臨時特別給付金については、子どもを持ち、新型コロナウイルス感染症

によって経済的に厳しい環境にある家庭を支援するものであるとすれば、迅速に家計を直接支える現金支給が望ましいと考えますが、市長の見解を伺います。

〔答〕当初は十二月に現金、その後三月までにはクーポンを想定していましたが、多くの市民から早急かつ現金でという希望が届いていますので、それに応えるための取組を担当課に指示しています。国の方針がまだ見えていませんが、基本的には二度目も現金支給を行いたいと考えています。



前橋 令明
小岩井 僚太



市民にデジタルの恩恵を

〔問〕市民にデジタルの恩恵を受けてもらうための一つの方法として、行政施設のスマホ予約化、スマートロック化があります。公民館における進捗状況と今後の取組を伺います。

〔答〕令和三年三月に策定された前橋市DX推進計画に基づき、予約システムに係るワーキンググループが立ち上げられ、検討が開始されたところであり、計画期間内での実現を目指して検討が進められると考えています。また、スマートロックについて

質問

は、予約システムとの連携が重要と考えられることから、ワーキンググループの中で導入の可否も含めて検討していきたいと考えています。

キャッシュレス決済の導入

〈問〉市民課の証明交付窓口において、セミセルフレジでのキャッシュレス決済の導入を予定していますが、①決済手段②利用開始時期について伺います。

〈答〉①クレジットカード、電子マネー及びQRコード決済の導入を予定しており、十種類以上の決済ブランドが利用できるように選定を進めています②令和四年二月中旬を予定しています。具体的な日程が決まり次第、広報まえばし、市ホームページなどで周知を行います。



前橋令明
堤 波志芽



前橋城大手門の石垣

〈問〉令和三年二月に本町一丁目の建築工事現場から前橋城大手門の石垣が発見されて話題となりましたが、現在の状況と公開に向けての考え方について伺います。

〈答〉現在、石垣の上に人工地盤を設置する工事を実施しています。人工地盤設置工事後終了後



前橋城大手門の石垣

は一旦埋め戻しを行い、現状保存を図りますが、将来的には地権者や関係部署と協議を進めながら、市民が石垣を外側から見ることができるような整備を検討したいと考えています。

空き家の発生予防対策

〈問〉人口減少や高齢化によって空き家が増え続けており、社会問題となっております。管理不全の空き家の指導業務に加え、周囲に重大な影響を及ぼす危険な空き家の発生自体を予防することも重要であると思いますが、本市ではどのような施策を講じているのか伺います。

〈答〉高齢者が居住している住宅で屋根や外壁などの外装部を修繕する場合、その工事費の一部を支援する制度を平成三十年から実施しています。空き家になると老朽化のスピードも加速するため、危険な空き家となる前の予防対策として重要な事業であると考えています。



前橋高志会
山田 秀明



荒廃農地の解消

〈問〉農業者の後継者不足や高齢化は年々深刻な状況となっており、耕作放棄地の増加を懸念しています。今後どのように荒廃農地を解消するのか伺います。

〈答〉再生利用が困難な農地は、国の方針に基づき農業委員会による非農地判断を進めていきます。また再生利用が可能な農地は、担い手への農地集積やマッチングなどの促進によって再生に向けた取組を行うほか、再生を目指す農業者の視点で利用しやすい再生利用事業の補助制度を検討していきます。

柏川2号線の今後の整備

〈問〉柏川2号線と主要地方道前橋大間々桐生線との交差部は、交差点の危険性からも早期の事業化が必要であると考えます。柏川2号線の今後の整備の進め方について伺います。

〈答〉交差点部は県道の歩道設置事業を実施している群馬県と連携を図りながら整備を進めていきます。まずは測量設計業務を行っている区間について、令和四年度より用地買収や整備工事を進めていきたいと考えます。



前橋高志会
富田 公隆



施設園芸農家の現状

〈問〉施設園芸農家は燃油価格高騰の影響を受けにくい経営への転換を進めていく必要があると考えます。その第一歩として現状を把握することがたいせつだと思いますが、どのように捉えているのか伺います。

〈答〉経営費に占める燃料費の割合が極めて高いため、燃油価格の高騰によって多大な影響を受けており、更に生産コストの上昇分を販売価格に転嫁できないことなどから、経営を圧迫している状況だと認識しています。

上増田工業団地の拡張

〈問〉本市においてにじみ出しによる工業団地の拡張を考えたとき、駒形インターチェンジに近く、東西南北にしっかりとした道路網があり、北側に広大な用地もある上増田工業団地が有



上増田工業団地

力な候補地であると考えます。当局の認識を伺います。

〈答〉 上増田工業団地の隣接地は交通便利性に優れ、まとまった平坦な土地の確保も可能なことから、産業用地として魅力ある場所だと認識しています。



前橋高志会
窪田 出



犯罪被害者に対する支援

〈問〉 犯罪により家族の大黒柱的な人がご不幸となった場合、残された方々には精神的な被害の上に経済的な負担がのしかかってくると思います。衣食住や就業面などを含めた具体的な支援策について伺います。

〈答〉 ご遺族に対する見舞金の支給、心身不調に対する相談や子育てに対する各種支援などのサービスを提供、市営住宅への入居における配慮のほか、関係機関と連携した就業支援などを考えています。

地球温暖化防止実行計画

〈問〉 前橋市地球温暖化防止実行計画の基本施策では、再生可能エネルギーの利用促進、省エネ型ライフスタイル等の推進として、住宅用太陽光発電と蓄電池の利用促進に取り組むとしています。新たな補助制度など

インセンティブ施策を図っていくのかについて伺います。

〈答〉 ニーズがありながら普及が進んでいない省エネ効果が高い機器の導入の動機づけについても検討してまいります。



前橋高志会
近藤 登



管理不全の空き家や空き地

〈問〉 管理不全の空き家や空き地は行政による区域区分にかかわらず存在している中、対応に差異があることはおかしいです。条例で定められているのだとすれば、改正して同じ対応が取れるようにすべきと考えますが、当局の考えを伺います。

〈答〉 前橋市あき地の環境管理に関する条例の目的である住民生活の安全と公衆衛生の向上の視点にのっとり、区域によって対象物件の対応に差異が生じないように関係部署で連携して取り組んでいきます。

CSF対策の強化

〈問〉 CSF対策において、野生イノシシを養豚農場へ近づけさせないための防制体制の強化が急務です。緩衝帯の設置概要と今後の取組について伺います。

〈答〉 実施箇所の選定に当たっては、豚熱の発生農場周辺を優

先することを検討しています。今後も野生イノシシなどの出没状況を勘案しながら、緩衝帯の設置箇所を順次選定し、継続的に実施していきたいと考えます。



前橋高志会
金井 清一



ハザードマップ

〈問〉 洪水・土砂災害ハザードマップは令和三年六月に改定され、拡大した浸水想定区域には市有施設も相当数存在しています。また、大雨時に河川以外の下水道や道路側溝などの雨水排水施設が原因で発生する内水氾濫による被害が頻発しています。が、内水のハザードマップは作成されていません。①災害ハザードの想定区域に立地する市有施設への対策②内水ハザードマップ作成の取組状況を伺います。

〈答〉 ①学校や福祉施設などの要配慮者利用施設では避難確保計画を作成済みであり、順次必要な訓練も進めています。移転を含めたハード対策も災害時に重要な活動拠点となる施設や災害ハザードの危険性が高い施設などを優先して対応を検討しま

す②作成に必要な調査が未了のため、法令に基づくものは作成に至っていませんが、住家の浸水被害や道路冠水などが複数発生した箇所を示した浸水被害ハザードマップを任意で作成し、市民に注意を促しています。



市民フォーラム
三森 和也



安全対策に子どもの意見を

〈問〉 市内には、子どもたちから通学路の危険箇所を聞き取り、実際の点検に生かしている学校があります。子どもの意見を取り入れた通学路の安全対策について、見解を伺います。

〈答〉 子ども自身が安全に行動できるようにするためにも、意見を取り入れることは重要と考えますので、子どもの視点も取り入れた安全対策を構築するとともに、地域との連携についてもよりいっそう図っていくよう学校に働きかけていきます。

不登校児童生徒への支援

〈問〉 不登校にはさまざまな要因が考えられるため、児童生徒一人一人の個性を見つつ、支援することが重要です。支援体制の充実に向けた更なる体制整備について、見解を伺います。

〈答〉 現在取り組んでいる適応

質問

指導教室事業などの支援事業の機能強化、教職員による児童生徒や保護者への効果的な対応など、切れ目のない支援に取り組みます。また、他県における不登校特例校などの実践を研究し、本市の取組に反映します。



市民フォーラム
宮崎 裕紀子



県民会館の今後の展望

〈問〉群馬県が廃止を検討していた県民会館は、前橋市まちづくり公社が指定管理者となつて三年間存続することになりましたが、老朽化で遠からず改修が必要になるのは明らかです。指定管理期間の三年が終わつた後の展望について伺います。

〈答〉大ホールと付随施設に利用を限定し、市民文化会館と一体的、効率的に管理運営することで指定管理料を約四割削減できるため、前橋市まちづくり公社を指定管理者に決定したと聞いています。今後の展望は三年間で検討され、最終的な判断は設置者の群馬県となります。

アーツ前橋の運営

〈問〉アーツ前橋の収支と今後の方向性について伺います。

〈答〉過去五年間の年平均で、展覧会事業は収入が二百三十八



アーツ前橋

万円、支出が四千六百八十六万円であり、アーツ前橋全体では歳入が八百九十五万円、歳出が一億六千九百三十万円です。美術館運営は収支を全く鑑みなくてよいわけではなく、利用者の応分負担も欠かせない視点だと認識しています。より魅力的な展覧会で入場者数を増やすとともに、助成金や協賛金、メンバーシップ会員増加など入場料以外の財源確保を図り、収支を意識した運営に努めていきます。



市民フォーラム
大澤 智之



詐欺被害防止の取組

〈問〉連日、新聞紙面では詐欺被害が報道されています。手口も日々巧妙化する詐欺に対し、どのような被害防止の取組を行っているのか伺います。

〈答〉出前講座や老人福祉センターでの防犯講話で被害の実例を紹介するなどの啓発を行って

います。また、警察からの詐欺被害情報や詐欺の予兆情報をまちの安全ひろメールで随時配信するとともに、広報まえばしに詐欺被害防止の記事を掲載するなどの取組を行っています。

若者の消費者被害防止

〈問〉令和四年四月に成人年齢が十八歳に引き下げられ、さまざまな契約が十八歳からできるようになります。十八歳及び十九歳は、民法で規定されている未成年者取消権を行使することができなくなります。若者の消費者被害の拡大が懸念されますが、①学校教育における消費者教育②消費者被害防止の取組について伺います。

〈答〉①小中高等学校の家庭科、社会科などを中心に、児童生徒の発達段階を踏まえて指導しています②若者向けリーフレットを毎年一月に全世帯に回覧するとともに、市ホームページの新人向け情報特設ページに若者の消費者トラブル事例などを掲載し、注意喚起に努めています。



日本共産党市議団
小林 久子



がん検診負担の再検討を

〈問〉がん検診は令和四年度から一検診当たり五百円の市民負

担を課し、胃がん、子宮がん、乳がん検診は隔年実施となりま

す。がんの発見を遅らせて重症化リスクを上げ、医療費負担を増やすことにつながる実施方針を再検討し、撤回すべきだと考えますが、いかがですか。

がん検診を継続的、長期的に実施していくために、受益者負担の考え方及び公平性の観点も取り入れ、令和四年度から一部負担を求めるものです。

〈問〉大胡ぐりんふらわー牧場のローラー滑り台は壊れたままであり、動物ふれあいゾーンも動物が減っています。滑り台の新設と動物の補充を行い、牧場の魅力アップにつなげていくべきですが、見解を伺います。

〈答〉滑り台は今後撤去を予定しており、動物の飼育数は徐々に減っている状況です。ご指摘の点も踏まえながら、より適切な公園管理に努めていきます。



日本共産党市議団
長谷川 薫



配慮個人情報規定との矛盾

〈問〉二〇二二年度までにほとんどの市民のマイナンバーカード取得を目指す前橋市DX推進計画は、本市条例の思想信条や

社会的身分、病歴などの配慮個人情報収集しないとする規定と根本から矛盾すると考えますが、見解を伺います。

〔答〕特定された利用目的の達成に必要な範囲において適切に取り扱うことで、規定と矛盾するものではないと考えます。

スーパーシティ構想

〔問〕スーパーシティ構想では、百五十九社の民間IT企業などが事業提案をしています。ビジネスチャンスを求める企業の意欲に迎合し、市民合意のないまま市民の税金を投入して事業を推進することはやめるべきだと思いますが、いかがですか。

〔答〕国と一緒に策定する基本構想では、住民などの意向確認が必要です。スーパーシティは市民合意が重要なため、今後も市民に寄り添い、合意形成を進めていきたいと考えます。



日本共産党市議員
吉田 直弘



中学校の制服を自由選択制に

〔問〕性的少数者への向き合い方が問われる中、制服が子どもたちの心のハードルとならないようにすることが必要です。全中学校で女子用の制服に合わせたストラップを導入し、制服は



自由選択制の制服

自由選択制にすべきと考えますが、①現状②見解を伺います。

〔答〕①市内二十校のうち十一校が既に導入しており、六校が導入の準備を進めています②生徒の心情などに配慮したうえで選択できるようにすることが重要であると考えます。

平和資料館の創設

〔問〕平和資料館の創設は、年度内に候補地を決め、令和五年四月の開業を目的に具体的なロードマップを示すべきです。市長に早期開設の決断を求めたいと思いますが、いかがですか。

〔答〕まずは候補地、候補施設の選定を最優先に検討する必要があります。私たちの方針も年内を目途に進めており、もうしばらくで示せると思います。



公明党市議員
高橋 照代



労働者協同組合の活用

〔問〕出資、経営、労働を一体

化して設立する非営利の法人組織である労働者協同組合の仕組みは、地域課題解決の市民活動の手法として活用できます。MSAサポート団体などに学習会や情報提供をしてほしいと考えますが、当局の見解を伺います。

〔答〕労働者協同組合は、NPO法人などに比べて簡単な手続きで設立でき、非営利の事業も実施できるため、団体の活動に自立性と継続性もたらされるものと期待しています。今後は情報収集に努め、提供していきたいと考えられています。

図書館サービスの拡充

〔問〕本市は行政サービスのDX化を推進していることから、電子図書館や音楽データ配信サービスの導入し、図書館サービスの拡充に取り組んでほしいと考えますが、見解を伺います。

〔答〕先進地の状況を把握し、導入に向けて検討を重ねていきたいと考えています。



公明党市議員
中里 武



マイナンバーカード取得促進

〔問〕マイナンバーカードは、まえばしID取得への重要なアイテムであり、カード取得を促進するうえで、国の施策と併せ

て自治体独自のポイント上乗せも可とされています。インパクトのある取組を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

〔答〕国の具体的な取組や進め方は確定していませんが、活用財源を含めて国の動向を注視しながら検討を進めていきます。

デジタルでの連携強化

〔問〕自治会でのデジタル環境整備は活動の活性化へつながると期待されますが、行政と自治会のデジタルでの連携強化について、当局の見解を伺います。

〔答〕本市のスーパーシティ構想でも、一人一人が情報機器を通じて暮らしに最適化された情報を得て、いつでもどこでも意見を表明できる高度な市民コミュニケーションを提案しており、行政と自治会のデジタルでの連携は強化されるものと考えています。



公明党市議員
石塚 武



関係人口の創出、拡大

〔問〕前橋版生涯活躍のまち、CCRは、当初の基本方針において東京圏からの移住者と地



総括質問



前橋版生涯活躍のまち (CCRC) イメージ図

域住民がともに生きがいを持って生涯にわたり活躍できる新たな地域づくりを目指すものと掲げていました。その後、生涯活躍のまちの政府方針が中高年齢者の移住から関係人口の創出、拡大へ見直されたようですが、

① 関係人口の創出、拡大の内容
② 具体的な進め方
③ 関係人口から定住人口につなげるための取組について伺います。

〈答〉 ① 年齢や障害の有無などを問わない、ごちゃまぜのコミュニティをベースに、健康や生きがいづくりなどの取組により地域の魅力向上と関係人口の創出を図るものとされました。② 施設事業者などによる仮称、まちづくりクラブを組成し、商業施設の一部や公園などでソフト事業に取り組み予定です。③ ソフト面での取組や移住コンシェルジュとの連携により移住促進を図りたいと考えています。



まほろば
岡田 修一



ギミックアートの活用

〈問〉 関西の自治体では、違法駐輪対策として小学生の考案したギミックアートが活用されており、海外では交通事故対策として浮き上がる横断歩道などの多様な仕掛けがあると聞いています。本市においてもアートを用的新しいまちづくりを進めていく必要があると感じますが、当局の見解を伺います。

〈答〉 前橋駅北口の駐輪対策として前橋工科大学と研究事業を進めており、学生のデザイン提案を基に、ギミックアートの手法を活用している日本建築アート協会の協力を得ながら、啓発効果を高めるための検討を行っています。今後も産学官の連携によるアートを活用した新たなまちづくりを検討していきます。



まほろば
浅井 雅彦



図書館本館を残して利活用を

〈問〉 市立図書館は市制八十周年の記念事業として現在地に建設されました。本市の歴史的建造物であり、大手町には県の昭和庁舎や群馬会館なども残され

ています。図書館本館の中心市街地への移転後も歴史を感じさせる建物は残して利活用を進めてほしいと考えていますが、今後の方針を伺います。

〈答〉 現在の図書館本館は全国に先駆けて開架式書庫を採用するなど、文化的価値のある建築物であると認識しています。現時点では今後の利活用の方針は決まっていませんが、本館にまつわる歴史や文化を何らかの形で未来につなげていけるよう、研究、検討を進めていきたいと考えています。



赤利根
岡 正己



新しい図書館のコンセプト

〈問〉 千代田町中心拠点地区市街地再開発事業により、図書館本館が中心市街地に移転して行くこととなります。図書館は地域の知の拠点であり、たいへん重要なもので再開発の核になると考えますが、新しい図書館のコンセプトについて伺います。

〈答〉 図書館新本館構想策定プロジェクトチームを組織し、市民との対話を行いながら基本構

想の策定を進める中でコンセプトをしっかりと固め、令和四年三月に基本構想を公表する予定です。図書館は文化施設でもあるので、前橋文学館やアーツ前橋などとも連携し、文化の発信拠点として新しい価値を生み出し、地域とともに成長していくことを目指したいと思えます。



なないろ
入澤 繭子



包括的性教育につながる指導

〈問〉 望まない妊娠や性暴力など、性に関する課題は多様化しており、子どもたちが巻き込まれる危険も高まっていると感じます。国際的に性教育は人権教育とされ、自分と相手の心と体を尊重する基本的な人権も学習することに。性教育を幅広く学ぶ包括的性教育につながる指導を充実してもらいたいと考えますが、見解を伺います。

〈答〉 子どもたちが自分や他者を価値ある存在として尊重し合うことができるようにすることはたいへん重要なことです。今後も、群馬県人権教育充実指針などに基づき、組織的、計画的に人権教育を推進することで自他の人権をたいせつにする指導の充実を図っていきます。

議案の議決結果

第4回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

| 議案 | 件名 | 議決結果 |
|-------|--|--------|
| 第112号 | 令和3年度前橋市一般会計補正予算 | 可決(多数) |
| 第113号 | 令和3年度前橋市農業集落排水事業特別会計補正予算 | 可決(全員) |
| 第114号 | 令和3年度前橋市水道事業会計補正予算 | 可決(全員) |
| 第115号 | 令和3年度前橋市下水道事業会計補正予算 | 可決(全員) |
| 第116号 | 行政手続における押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について | 可決(全員) |
| 第117号 | 前橋市犯罪被害者等支援条例の制定について | 可決(全員) |
| 第118号 | 前橋市手数料条例の改正について | 可決(全員) |
| 第119号 | 前橋市支所及び出張所設置条例の改正について | 可決(全員) |
| 第120号 | 前橋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正について | 可決(全員) |
| 第121号 | 前橋市児童館の設置及び管理に関する条例の改正について | 可決(全員) |
| 第122号 | 前橋市総合福祉会館の設置及び管理に関する条例の改正について | 可決(全員) |
| 第123号 | 前橋市国民健康保険条例の改正について | 可決(全員) |
| 第124号 | 前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について | 可決(多数) |
| 第125号 | 前橋市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の改正について | 可決(全員) |
| 第126号 | 前橋市自然環境・景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の改正について | 可決(全員) |
| 第127号 | 前橋市市街化調整区域に係る開発行為の許可の基準に関する条例の改正について | 可決(全員) |
| 第128号 | 前橋市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の改正について | 可決(全員) |
| 第129号 | 前橋市富士見竜門公園の設置及び管理に関する条例の廃止について | 可決(全員) |
| 第130号 | 前橋市公民館条例の改正について | 可決(全員) |
| 第131号 | 前橋市公民館利用に関する条例の改正について | 可決(全員) |
| 第132号 | 前橋市立図書館設置条例の改正について | 可決(全員) |
| 第133号 | 公の施設の指定管理者の指定について(ジョブセンターまえばし) | 可決(全員) |
| 第134号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市地産地消センター) | 可決(全員) |
| 第135号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市粕川農産物加工施設) | 可決(全員) |
| 第136号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市富士見農産物加工施設) | 可決(全員) |
| 第137号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市民文化会館ほか) | 可決(全員) |
| 第138号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市第一福祉作業所ほか) | 可決(全員) |
| 第139号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市中心身障害者デイサービスセンター) | 可決(全員) |
| 第140号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市総合福祉会館ほか) | 可決(全員) |
| 第141号 | 公の施設の指定管理者の指定について(前橋テルサ) | 可決(全員) |
| 第142号 | 公立大学法人前橋工科大学の定款の変更について | 可決(全員) |
| 第143号 | 公立大学法人前橋工科大学の中期目標の変更について | 可決(全員) |
| 第144号 | 工事請負契約締結の議決事項の変更について(前橋市新設道の駅建築工事) | 可決(多数) |
| 第145号 | 物品の購入について(防災行政無線機器) | 可決(全員) |
| 第146号 | 令和3年度前橋市一般会計補正予算 | 可決(全員) |
| 第147号 | 固定資産評価審査委員会の委員の選任について | 同意(全員) |
| 第148号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 同意(全員) |
| 第149号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 同意(全員) |
| 第150号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 同意(全員) |
| 第151号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 同意(全員) |
| 第152号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 同意(全員) |

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(○賛成、●反対)

| 議案番号 | 会派名 議員名 | 前橋令明 | | | | | | | | | | 前橋高志会 | | | | | | 市民フォーラム | | 共産党 | | 公明党 | | ま | | 赤 | | な | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|------------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|-------|-------|------|------|-----|-----|---------|-------|------|------|------|------|-----|------|------|-------|------|------|------|------|-----|-----|-------|------|------|------|-----|------|---|---|---|
| | | 阿部忠幸 | 鈴木数成 | 須賀博史 | 豊孝男 | 小沢一明 | 横山勝彦 | 中林章 | 鈴木俊司 | 新井美加 | 林幸一 | 堤波志芽 | 小岩井僚太 | 市村均光 | 佐藤祥平 | 笠原久 | 窪田出 | 金井清一 | 小曾根英明 | 富田公隆 | 近藤秀明 | 山田修一 | 角田和也 | 三森彰 | 藤江智之 | 大澤智之 | 宮崎裕紀子 | 長谷川薫 | 近藤好枝 | 小林久子 | 吉田直弘 | 中里武 | 石塚武 | 新井美咲子 | 高橋照代 | 岡田修一 | 浅井雅彦 | 岡正己 | 入澤繭子 | | | |
| 第112号、第124号、第144号 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

*議長は議決に加わらないため「/」で表示しています。

*会派名：共産党(日本共産党前橋市議会議員団)、公明党(公明党前橋市議会議員団)、ま(まほろば)、赤(赤利根)、な(なないろ)

*会派構成は第4回定例会時点のものです。(最新の会派別議員名簿は前橋市議会ホームページに掲載しています。)

意見書

第四回定例会では、意見書案三件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○スクールカウンセラーの配置拡充を求める意見書

文部科学省は平成七年度からスクールカウンセラー

の配置を始め、平成三十年四月一日の改正で公認心理師を追加し、対策として進んできたが、不登校の小学生は平成二十四年度から毎年増え続けており、近年においては新型コロナウイルスの感染拡大もこれを加速させている。

指摘される課題として、スクールカウンセラーのほとんどが非常勤職員であるため、相談体制は週一回、四〜八時間といった学校が多く、児童生徒や保護者が相談したいタイミングで相談できず、問題の状況に応じた柔軟な対応がしにくいことが挙げられる。

スクールカウンセラーに期待されている役割は大きく、その業務は児童生徒に対する相談のほか、保護者

及び教職員に対する相談、教職員への研修、事故などの緊急対応における児童生徒の心のケアなど、多岐にわたっている。

スクールカウンセラーの配置を全国的に拡充し、いじめや不登校など学校内で生じる問題解決を図るよう国に強く要請する。

○義務教育における特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書

全国的に小中学校の特別支援学級在籍の児童生徒数の増加傾向が顕著となっており、小中学校合わせて令和二年度は三十万二千四百七十三人、平成二十二年度比で約二・一倍と報告されている。

また、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律に規定する特別支援学級の学級編制標準の数は公立小中学校とも一学級八人となっている。

特別支援学級に在籍する児童生徒は、障害程度や特性が個別多様であるが、同じ学級に小学校では一年生から六年生、中学校では一

年生から三年生までが在籍し、学年差、障害程度などに応じた教育環境が必要であるにもかかわらず、教育現場からはじゅうぶんな対応に苦慮しているとの声が上がっている。

特別支援学級の現行の学級編制標準とじゅうぶんな学びの環境を保障しようとする教育現場の現状に乖離があることから、特別支援学級の更なる少人数化に向けて、学級編制標準を速やかに改善するよう国に強く要請する。

○原油価格の高騰対策を求める意見書

コロナ禍での原油価格の急激な高騰は、石油製品など原材料費や穀物価格の高騰ともあいまって、食料品から日常生活用品に至るまで価格上昇を招き、消費者物価全般へ波及して、国民生活のあらゆる面で深刻な影響をもたらしている。

家用車の保有台数が全国トップレベルの本県においては、ガソリン価格の高騰が家計の困難に直結している。また、燃料がコストの中で多くを占める運輸業

や石油関連の各種資材が高騰している建設業などが経営の危機にあえいでいる。

ハウス農家は燃料価格の高騰で経営危機に立たされており、肥料や飼料や多くの資材価格の高騰が、農業経営全体を圧迫している。

国民生活の安定と地域経済を守るため、次の抜本対策を早急に講じることが国に強く求めるものである。

- ①生活保護世帯や住民税

高校生模擬議会を開催

令和三年十二月十七日に前橋市立前橋高等学校の探究学習（主権者教育）の一環として、二年生の皆さんによる模擬議会が議場で開催されました。模擬議会では、十八名が高校生ならではの視点から代表質問を行い、所管の部長などがこれに答えました。

また、模擬議会の開催に先立ち、十一月四日には高校の授業に十三名の議員が参加し、議員活動の紹介や各クラスのマニフェストに対するアドバイスなどを行いました。



事前授業



模擬議会